



# 不景氣打開の好人氣に

## 平町の日用品も大狂騰

### 株式米穀奔騰の餘波が

#### 敏感に影響して

急轉直下的に、大養内閣の出現に依つて不景氣打開の好人氣を煽り株式米穀が狂騰した餘波は敏感に一般日用品に迄も及んで居るが平町に於ける市内の物價を調べて見るに左の如くである

#### 救はれる

##### 酒屋さん

酒の相場は目下最低一石五十圓に落ちて居り一石に就いて四十圓の税金を拂ひ十圓の製産費を投じ合計六十圓の原價のものを水で遣り繰つて居た酒屋さん達は差當り大きに救はれるであらうとの噂も立つ

#### 人氣の反映

##### 綿類が上る

次に打綿は一貫及二圓八十錢から三圓に騰り赤綿も二圓廿錢から二圓四十錢に騰つて居る關係者は支那貿易關係にあるといつて居るが大養内閣の人氣が反映して居ないとは否定出來ぬ

#### 疊表高値

##### 一枚五錢宛

疊表は備後もの琉球ものと

#### 吳服物騰貴

##### 綿布類一齊に

吳服物に至つては酒木綿が一反廿七錢から卅錢に二割方騰貴を示し他の綿布類は一齊に一割五分方上つて居る、絹布類は未だ高くなつて來ないが生糸が百斤につき五百五十圓から五百八十圓に上つて居るので當然上

#### 狂調子

##### 木炭も

木炭の小賣値は今の處總体的に一貫及二錢方しか上つてゐないが是れも又需要期に入つて居り強調子を示すと見られて居る

#### 特價品が

##### 藏の中へ逆戻り

##### 減つた賣出は出來ぬと

##### ひたすら日和見

面白い事には市内のある吳服屋さんが歳末の大賣出しと銘打つて歳末資金集めを計劃したところが停止するところを知らざる先高に

#### 餘りの強氣配に

##### スツカリ尻込み

##### 有頂天の米屋さん

白米は各等共二割平均で上げねばならぬ強氣配に寧ろ米穀商組合がスツカリ尻込みの態で今晚組合會議を開き相談するとの事で糯米も白米に連れて引上げられる

#### 毛糸店の賑ひ

なほ毛糸類の賣値段は未

た上げられてゐないが製造會社は二割方の値上げを提案し目下問屋側と交渉中で此の狀況を感知した市内の敏感な婦人達は早くも毛糸店に殺到ふんだんに買ひ込んだ向きあつて昨十五日は毛糸店の店頭は時ならぬ賑さを呈した

#### 年賀郵便の注意

##### 出来る丈お早く

慌しい年の瀬が押迫つていよいよ新しい年を祝福する賀状を書くこととなる。郵便局では例年の通り来る二十日から二十九日まで年賀郵便特別取扱ひをするが従來の例によると特別取扱ひの終期に迫つて差し出す向が多いため一時に輻輳して間違ひを起し易いからなるべく二十五、二十六日頃までに差出すやう希望してゐる。全局では年賀郵便案内の

#### 自動車運轉手

##### 組合役員決定

既報平署管内の自動車運轉手組合の發會式は昨夜七時より丸友ホールに行はれ出席者八十名にて役員左記の如く決定したと

- 一、書狀、葉書、名刺の三種
- 二、差出方法
- 「年賀郵便」と記載した紙札を附けて十字形に結び郵便局へ御出し下さるか又はポストに御投入下さる

# 謝近火御見舞

今曉近火の際は早速御見舞被下御蔭様を以つて類焼を免れ難有御厚禮申上候早速拜趨御禮申上之處後仕末等にて混雜中に付乍略儀以紙上不取敢御禮申上度如斯御座候

昭和六年十二月十六日

- 大塚肉店
- 渡邊佐七
- 正木建具店
- 正木旭松
- 佐藤砲金鑄工所
- 佐藤源次郎
- 佐藤榮吉
- 齊藤弓屋
- 齊藤繁藏
- 木村外科醫院
- 木村淳
- 菊地鐵工所
- 數島テント商會
- 大島勇八
- 鈴木伊平

# 年の瀬も迫る今曉

## 正月町八戸全焼す

### 損害約一萬圓

今曉午後十二時半頃平町正月町十六居住石工瀬谷源太郎(五)方より發火し折柄の西風に煽られ見る々全家を全焼し更に隣家製材商店員飯田一之方に燃え移り更に桶職坂本利介、鐵道員松崎義頭、全木村久吾、全鈴木富治、會社員丹野セツ金融業植松富治等の各居住宅を一嘗めにして全焼せる外鈴木製材工場及び空家一戸を半焼し午前二時半鎮火した、全焼棟數六棟、全住宅八戸、全坪數九十二坪にて損害總額約一萬圓と稱せらる尙平消防組の懸命な働き以外に内郷、平窪、神谷赤井、飯野各村の消防組來援、殊に片倉製糸消防隊ガソリン唧筒隊の勇敢な行爲は人々の感謝の的となつて居る

### 名譽も水泡

#### 年末迫つて此の火災

平町は消防設備の完備と共に一般の防火思想が普及し本年は末だ一回も火災がななく一ヶ年間無火災町として縣消防協會から表彰される事になつて居たが歳末迫る

### 水利組合管理者

磐城小川江筋普通水利組合並に鮫川堰普通水利組合の管理者地方課長小林千秋氏は此程安稱疏水組合の管理者に任命されたので後任として地方事務官長瀬英一氏が十五日付を以て兩普通水利組合の管理者に任命されたと

### 飛行機になつて飛んで行き度い

#### 女生徒六名の眞心

平第二小學校尋常科四年二組の生徒六名は左記書狀を添えたテウインガム一箱を滿洲の我が勇士に送り度いとの誠意を披瀝し本社へ寄託し來つた

### 煙草の吸殻

#### 獨り暮しの老人の不始末から

右火災の原因は火元の瀬谷源太郎は一人暮しの老人にて全夜寝に就いて煙草を吸つた際吸殻が煙草盆の外に轉つたのを知らず熟睡し火が室内一杯に擴つてから命からがら逃げ出したもので

とを聞かない、やくそくをまもんさい支那兵を、すつかりまかして下さい、御体を御大切に、さよふならこのちゆういんがひは今たいさうはやつているので私たちがおはしをあつめてかひましたからどうかたべて下さい

### 愛婦幹事が慰問金一封

#### 本日平町役場へ在滿兵への慰問金として愛國婦人會平委員區幹事諸氏より慰問金一封を寄贈して來た

青沼せい子、大杉昌子、山崎竹子、山崎キン子、曾我和嘉子、門傳登美子、清野キヨ、藏田ミエ

### 赤十字の慰問

豫てより赤十字社福島支部で在滿兵の慰問法として縣下の少年赤十字團員が綴方圖書等を送るべく募集中であつた

### 名刺交換會の余興を廢して在滿兵を慰問

吉例に依る平町役場主催の新年名刺交換會は元旦聚樂館にて會費五十錢を以つて催されるので本日各區長へこれが出席者の勸誘方を通知したが本年は餘興をばぶ

### 明日のラジオ

十七日

とピアノ獨奏 ヴァイオリン獨奏 ロバートボラツク バン獨奏及伴奏 マダラー マツソン

後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告

明日の部

後九、一〇 料理献立「ナマコの柚子漬」小野寺嘉祝

後一〇、三〇 婦人講座「回顧と希望を語る」吉岡彌生

後〇、〇五 「マンドリン五重奏」東京フレクトラムンツァイ エアイ

後二、〇〇 家庭大學講座「常識の映畫」仲木貞一

後六、〇〇 子供の時間「山伏と坊様」栗津勲

後六、三〇 英語講座「中等科」花園兼定

後七、三〇 日滿蒙事情特別講座「滿蒙問題と國際聯盟」前特命全權大使本多熊太郎

後八、〇〇 喜多流謡曲「教盛」澤口政之助 後藤文吾

後八、二五 新内「男作出世の員唄」鶴賀千代吉

後八、五〇 放送映畫劇「七つの海」岡譲二外

### 今晩の部

後六、〇〇 子供の時間お話し「醬油の出来るまで」茂木佐市治

後六、三〇 英語講座「初等科」寺西武夫

後七、三〇 時事講座「滿蒙殖産物の由來と將來」理學博士岩崎野三

後八、〇〇 常磐津 常磐津兼太夫

後八、三〇 小唄 田村てるえ

後八、五〇 ヴァイオリン

### 手の切れさうな十圓札十二枚

#### 豆腐行商の老人拾ふ

石城郡内郷村字御殿の豆腐行商人菊地一郎と(五)云ふ老人は昨夜七時頃湯本町に行商に出掛全町葛西地内路上にて赤草の墓口を拾得開いて見ると十圓札十二枚合計百廿圓の大金なので早速其筋へ届出たが落主が未だに判明しないと

### 政權獲得 祝勝

#### 二十日頃に

石城郡政友部會では来る二十日頃不日物故した高岡元代議士の忌明けを待つて政權獲得の祝勝會を平町に開催する事となつた

### 平町人事

△材木町三四 當時宮城縣仙臺市榊町七難波軍治氏四女アツ子  
△白銀町九菅欣哉(一野ツ)

### 前借金横領

#### 無免許周旋屋

石城郡内郷村字高坂溝井渡也(五)は十月頃無免許にて磐崎村字湯長屋元小田炭礦坑夫田中松次郎の四女ケサ(五)を前借五十圓にて埼玉縣の足袋工場に世話し前借金を横領して居た事發覺目下平署で取調中であるが全



# 七五七

(第11)

【載轉禁】

渡邊 默禪 作  
布施平八郎 畫

我が子歸る (8)

その夕刻から半兵衛はやゝ元氣づいて始めて何百瓦かの滋養食料を攝つた。そして折々看護婦や千代子に向つて短い言葉を交えるやうになつた。千代子は清作から兄が来たことを耳打されてから二人の看護婦に暫らく遠ざかつて貰つて自分一人だけ病床の傍に居残つた。

「時にあの、お父さん。爺やからのお願ひでございませうがね、若い者を一人自分の手助けに使つて載さしたいッて、然う言つてゐますかね、儲ひ入れることにして、も宜しいございませうか。」

と、平兵衛は燥いだ唇を舌で濕して、どろんと濁つた目を千代子の顔に向けながら

「木村が……若い者を……はア、何だ……何を手傳はせるのだ。」

と、されされな詞で訊いた。「昨日の騒ぎからこつち店の者は一人も落ちてゐる者がなくなつたのです、出て来たかと思ふと直飛出してつたり、妙にそわ／＼しましてね。毎晩二人だけ

は宿直することになつてゐるのに、昨晩なんかは誰れ一人として残つてゐるものはないといつたやうな始末でして、他から店へ電話が懸つて來ても第一誰れも取次ぐ者もございませんでした。それで爺や一人で氣を

しばく問をおいてから「不都合な奴們だ、川島に然う言つて監督させればいゝ。」  
眉をびくりと動かした。「いえ、それを申せば申し上げますが、第一その川島からして寄着がないのですから仕方がありませんわ。今度の事件で必死の奔走してゐるから、御主人の御病氣が心配になつて堪らないけれども伺ふ暇もございませんで、どうぞ宜しくつて、今日どツからか電話で然う言つて來ましたの。」  
「然うか。」



揉んで、店の用から奥の仕事までやつてのけなければならぬやうな有様でした。多分昨晩はろく／＼寝る暇もなかつたらうと思ひますわ。」  
千代子が言つた。それは事實であつた。「然うか。氣の毒だな。」

どう思つたか簡単な答へを與へて、ほうと天井に目を投げた。「それで爺やが身内の者を一人臨時に儲つて來て、いゝろんな用向きの手傳ひをさせたいと然う申し出たので私は別に差支へがなからうと思ひました。」

連れて來てくれと吩咐けましたのでございませう。」「む、よからう。あれ一人ぢや大變だからなあア。」  
こゝ言つたかと思ふと目を閉ぢてう／＼となつた其時、音なく襖がスト開いた。闕のところは兩手を突いて首を長く此つ方を覗いたのが清作であつた。「お嬢さま。お睡みになつてゐらつしやいますか。」  
低い聲でいつた。千代子は振返つて「え。」  
と目配せした。「お願ひして置いた男が只今見えましてからこゝえ連れて來りました。是から、ちよい／＼奥の方にもお伺ひしまして、何かと御用を承るやうに致させますで、何分とも宜しくお願ひ申します、へい／＼。」  
と清作は眞面目腐つた顔付きで申し上げた。

印刷物の御用命は總て  
常警日印刷株式會社  
電話三六〇番

上田外科醫院  
平町 南町  
電話二一九番

大塚の 學生靴!!!  
耐久新製品  
編上靴 六〇〇  
半靴 五〇〇  
不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を……

大塚支店製靴部  
電話七七番

増田醫院  
平町南町一  
電話四八二番

七五三帽子均一廉賣

均一	10 錢
	20 錢
	30 錢
	50 錢
	70 錢
	95 錢
均一	

廿二日迄  
モリタヤ洋品店  
買店5丁目電353

外科 X光線科  
性病科  
外科科  
入院隨意

安齊外科醫院  
平町田町  
電話四七五番

福 德 生 命  
外務社員招聘  
經驗の有無に不拘ず  
奮闘家を望む  
希望者は履歴書持參御來談を乞ふ  
◎内職にても差支へなし  
平町一丁目  
代理店主幹 比佐信太郎

平新川町十九  
木村病院  
電話一六四番

産婦人科 院長 木村寅次郎  
内臓外科 醫學士 松永憲一  
整形外科

着祝おの三五七  
可愛らしきお子様方に  
洋服。オバー。ト。帽子。子。ヨシ。ル。等々  
平 四 ツ ヤ ル 電 一 〇